

貸金業法改正1年を省みれば

さて今回は、債務整理料金の公開の最後に個人の民事再生の費用は、いくらかということをお話する。そして、債務整理の費用負担に対する国側の対応、すなわち税金を支えているシステムによる債権者の救済の手段の紹介をすることで、このシリーズを終わりにする予定だ。

思い返せば、実は私は自己破産を含めたこの債務整理の世界にかかわって十年、事業に

関わってきた。その間、今でもしばしば考えることがあるのだが、それはなぜ、この国にも世界にも、学問として「貧乏学」という学問がないのか、「貧乏の科学」という研究がないのかというところであった。

学問という以上、ある法則性、体系的、こういふものが無ければならぬ。科学的には、そうした要件、可能性が十分満たされているのではなかろうか。

一般的に言える貧乏法則は、極端な欠乏が極端な欲望を生み、満たされているかで見えるものに対する情しみを生み、さらには果てしなき報復感情を再生産する。

凡人であるわれわれは、大いに嫉妬心も優越感も劣等感も持っているが、体験を通じ、大体そこそこどこかで、己の限界を知り、自己満足の世界の範囲を切り取って、そこでことを終わらせることになっている。

しかし極端な「貧乏」というものは、凡人の欠落感、物理的不足感とは

異なる。昔聞か、美に不思議である。極端な「貧乏」は、「報復」と「支配」、凡人に対する「優越の実現」という過剰な情熱を生み出す。その結果、自由主義と民主主義という社会制度に不可欠な、しかも要素であるところの「寛容」という美徳と原理を

失ってしまうのである。阿みち子氏は、「債務整理による法的解決は随分普及しているように見えますが、債務整理後の生活再生に向けた家計診断やカウンセリング相談、金銭的に不足を来した時の生活資金の相談や経済的サポートはほとんどなされていません」と弊

社の追求故に大層に生じた競争が激化した。その結果、正義の「被害者の会」や「カウンセリング」がいくらと

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

勝瑞豊の 同法書士界 縦横無尽

<500>

さて今回は、債務整理料金の公開の最後に個人の民事再生の費用は、いくらかということをお話する。そして、債務整理の費用負担に対する国側の対応、すなわち税金を支えているシステムによる債権者の救済の手段の紹介をすることで、このシリーズを終わりにする予定だ。

思い返せば、実は私は自己破産を含めたこの債務整理の世界にかかわって十年、事業に

関わってきた。その間、今でもしばしば考えることがあるのだが、それはなぜ、この国にも世界にも、学問として「貧乏学」という学問がないのか、「貧乏の科学」という研究がないのかというところであった。

学問という以上、ある法則性、体系的、こういふものが無ければならぬ。科学的には、そうした要件、可能性が十分満たされているのではなかろうか。

一般的に言える貧乏法則は、極端な欠乏が極端な欲望を生み、満たされているかで見えるものに対する情しみを生み、さらには果てしなき報復感情を再生産する。

凡人であるわれわれは、大いに嫉妬心も優越感も劣等感も持っているが、体験を通じ、大体そこそこどこかで、己の限界を知り、自己満足の世界の範囲を切り取って、そこでことを終わらせることになっている。

しかし極端な「貧乏」というものは、凡人の欠落感、物理的不足感とは

異なる。昔聞か、美に不思議である。極端な「貧乏」は、「報復」と「支配」、凡人に対する「優越の実現」という過剰な情熱を生み出す。その結果、自由主義と民主主義という社会制度に不可欠な、しかも要素であるところの「寛容」という美徳と原理を

失ってしまうのである。阿みち子氏は、「債務整理による法的解決は随分普及しているように見えますが、債務整理後の生活再生に向けた家計診断やカウンセリング相談、金銭的に不足を来した時の生活資金の相談や経済的サポートはほとんどなされていません」と弊

社の追求故に大層に生じた競争が激化した。その結果、正義の「被害者の会」や「カウンセリング」がいくらと

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

「特区」での試験実施 法務省へ再検討要請

商業・法人登記開放

行政書士側提案受け

内閣官房地域活性化統合事務局長は九月二十六日、六月に実施した「特区」地域再生、規制改革集中受付」

法務省関係では、商業・法人登記業務の行政書士への開放問題に関して、提案した行政書士側が特区での

試験的な実施の検討などを求めたことから、同事務局長が法務省に回答を求めている。

提案者側が求めているのは、オンライン商業登記の際に行政書士電子証明書の使用を可能にしてほしいということ。

最初の「検討要請」に対し、法務省は商業・法人登記の法律知識や専門能力のある司法書士以外が手続

をした場合の弊害などを挙げ、開放を拒否している。

これに対して、提案者側は、具体的に、なぜ公認会計士・弁護士・裁判所のB等に「知識及び能力」があると言えるのかと登記申請は、定款等で決定した事項を単に登記情報に反映させるだけの定型的な申請で、国民に不利益が生じることはないという定款等を作成した

手数料が「安過ぎる」

官民競争入札 改定求める意見浮上

官民競争入札等整理委員会・地方出先機関分科会が七月に実施した法務省へのヒアリングで、司法書士試験の受験手数料六千六百円に対して、同分科会側から「安過ぎる」と手数料の

改定を求める意見が浮上っていたことが一日、分かった。具体的な改定額は定まらなかったが、最低でも一万円以上とする考えが示されている。

分科会側は、司法書士試験実施事務のコストの問題に絡んで、受験手数料額を法務省に尋ね、六千六百円であることを知り、「そんなに安いのか。今どきは英語とか、TOEICとか

受験手数料見直しに法務省は消極的な姿勢を明らかにしたが、分科会側は法務省職員が休日出勤して代休対応するなど現状について「ちよっと常識的に安い」という感じが非常にする。英語とか、TOEICとか

全国司法書士女性会 会長に大城氏 新体制を決定

全国司法書士女性会は九月二十日、大分市内の本ホールで第九回定時総会を開催し、役員を改選、長谷川歌子会長が再選したことに伴い、大城節子副会長を会長に昇格するなどの新体制を決定した。大城新会長は三代目となる。

会報上の就任に当たってのあいさつで、大城新会長は、設立以来、「女性会」の念頭である夫婦別姓制度の実現に向けた運動について「制度の成立をみるまでは、最後の一人になろう」とも闘い続ける覚悟で取り組

- 【会長】長谷川歌子(愛知県)
- 【副会長】大城節子(東京)
- 【副会長】豊原幸子(岡山)
- 【副会長】宮原幸子(長野県)
- 【副会長】安部康子(大分県)
- 【副会長】精川智子(大阪)
- 【理事】浦美穂代(愛知県)
- 【理事】安藤恭子(大分県)
- 【理事】大竹由美子(東京)
- 【理事】五十嵐てる子(新潟県)
- 【理事】三宅美智子(同)
- 【理事】池野良子(山形県)
- 【理事】岡田良枝(愛媛県)
- 【理事】山口里美(大阪)
- 【理事】中嶋奏子(福井県)
- 【理事】柳井朝子(東京)
- 【理事】財部裕当
- 【理事】大津剛子(東京)
- 【理事】滝川あおい(大阪)
- 【理事】渡辺寛(山形県)
- 【会計監査】赤羽彩美(東京)
- 【相談役】星しづ子(宮城県)

高額過ぎる個人再生手続きの費用 この酷さはどこから生まれるのか

差なのである。その心底には、どちらが優越感、不寛容という暗く悲しい情念が刷り込まれ、染み込まれているようなのだ。この「貧乏」の呪いは、金持ちになってもなかなか消え去ることはない。

このような現象を統計化し、そこにある法則を

奪い去ってしまうのである。私は六十四歳になるけれど知り合いの中には随分偉くなった人もいるが、「貧乏」という背後を思いまた背負っているように見える人が決して少なくない。

与えてあげ、一緒に遊んでやうという気持ち

生活再生相談室長の阿みち子氏は、「債務整理による法的解決は随分普及しているように見えますが、債務整理後の生活再生に向けた家計診断やカウンセリング相談、金銭的に不足を来した時の生活資金の相談や経済的サポートはほとんどなされていません」と弊

社の追求故に大層に生じた競争が激化した。その結果、正義の「被害者の会」や「カウンセリング」がいくらと

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

多量債務者が救済され、昨年百七十万円いた多量債務者が、わずか一年定率で百万人減る

◇司法書士関係情報、催し物などを本紙編集部までお知らせ下さい。編集部(0476761) 一五三三 F A X O四七六(六)三三三〇

司法書士世界版

行政書士本人が登記所に赴き、防止法で依頼人は本人確認を要する。この五項目を再意見として内閣官房の同事務局長に提出した。

これを受け、同事務局長は法務省に、提案主体からの再意見に対し検討し、回答するよう要請した。

独立行政法人であれば、受験料の適正さの観点から「もっと取れ」という話に当然なる」と指摘し、受験手数料の見直しについて法務省に対し、「何が、差を減らすチャンスかもしれない。この額(六千六百円)ではちよっとちよつちよつ感があるのでは、是非もう少しお願ひしたい」と前向きな検討を求めた。

ヒアリングで同省が明らかにした数値によると、司法書士試験実施には約千人の職員とアルバイト約六百人を動員。予算は一千八百二十七万一千円。このうち会場借用費が一十三百五十万円、アルバイト雇